

放送ライブラリー公開番組「ふるさとの新春」関連

※8階視聴ブースで視聴できます

<テレビ番組>			
登録番号	タイトル	放送局	内容
010091	日本の詩情 春をまつ村 桑取谷(新潟)	テレビ朝日 13分 1966/2/27	1965年～66年当時の日本各地の習俗、行事、生活、技術などを記録したドキュメンタリー。◆新潟県直江津市桑取谷に残る小正月行事を紹介する。正月の神を迎えるための若木迎えの行事、餅花づくり、鳥追い、年乞いの祈り、そして豪快な焼草などは、年の代わり目に当たって、新しい生命の甦りを願う日本古来の伝統であった。素朴で敬虔な行事と、それに託されたひたむきな願いを描く。
009219	日本の詩情 大磯のはだか祭 神奈川	テレビ朝日 13分 1966/3/6	東海道、大磯の宿。一年の幸せを呼び、網を曳きあう日本古来の正月行事「網曳き」は、いかにも獵師町らしい古く質素な神送り行事である。海中で身を清めた裸の若者はミコシを海へ曳き、着物を着た陸方が「やらじ」と陸へ曳き戻す。今なお残る漁村の小正月行事、汐水汲み・セトコまいり・ヤンナゴツゴなど大磯のはだか祭を紹介する。
013796	生きている人間旅行 雪の中の裸まつり —黒石寺蘇民祭—	テレビ東京 25分 1974/2/16	岩手県水沢市山内。ここに千年も前から伝わる祭りが「天台宗黒石寺の蘇民祭」である。この祭りは、旧正月7日の夜から8日にかけて行われる。男たちは、上半身裸になり行列の先頭にたつて村中を練り歩く。行列が境内に達すると、裸の男を中心にもみ合いとなり、やがて護符が入った麻袋、蘇民袋が持ち込まれると一気に祭りは盛り上がる。夜中から明け方にかけて展開される壮絶な裸祭りを紹介する。
003695	残そう、ふるさと文化 黒平の能三番	山梨放送 29分 1984/3/24	山梨県甲府市黒平町の民俗芸能を、映像として保存するために演じられた能を紹介する。旧暦の小正月に行われる道祖神祭り、それに続く能楽以前の民俗芸能として知られる「能三番(のうさんば)」を、地域の古老たちの話とともに記録した。
004821	ふるさと紀行 日本の風景 北設・東栄町	東海テレビ 12分 1984/9/29	わずかな土地を相手に昔ながらの生活を送る、奥三河の山村の四季をつづる。愛知県の北設地方には、「新木」と呼ぶ正月飾りの習わしがある。木を割いて、1年の意味の「十二月」という文字を入れる。先祖の霊前に新木を供えて1年の幸せを願う。秋、三河・信州・遠州23カ所を巡り大地を踏みしめて悪霊を鎮めて歩く、『花祭』の素朴な信仰などを紹介する。
003163	いい旅日本 もうひとつの横浜 港町潮風紀行	TBS 25分 1990/3/1	春節(旧正月)の祭りにわく中華街から横浜港、本牧の漁港や外国人向けのバー、さらに金沢地区の鎌倉時代からの旧跡、金沢動物園の人気者・コアラなどを紹介。横浜の持つさまざまな顔を探って訪ね歩く。
001815	真珠の小箱 茅原の大とんど 御所市	毎日放送 12分 1991/1/6	奈良県御所市にある吉祥草寺で毎年1月14日に行われる「茅原の大とんど」。吉祥草寺は、修験道の祖である役行者が生まれた地として知られている。「とんど」は関西独特の呼び名で、一般には「左義長」といい、門松などを持ち寄って焼き、その火で作った料理を食べ、1年間の無病息災を祈る行事。茅原の大とんどは奈良時代初期に五穀豊穡を願う地域の祭りとして始まり、それが寺の仏教法会と結びついた。
016167	Let'sドン・キホーテ ダムに沈む村でお正月 ～旧徳山村～	名古屋テレビ 25分 1993/1/6	昭和62年、ダム建設計画で全村民が移転し地図からも消えた徳山村。誰もいないはずの村に、かつての家に戻って暮らす女性がいた。補償金で建てた立派な家より思い出の残るふるさとで暮らしたいというこのお年寄りを訪ね、正月の準備を手伝う。雪が積もり始めた里の庭で、徳山村のお正月料理を一緒につくり、臼を引っ張り出して久しぶりに餅つきをする。

放送ライブラリー公開番組「ふるさとの新春」関連

※8階視聴ブースで視聴できます

登録番号	タイトル	放送局	内容
014077	北の輝き ふるさと紀行 津軽の正月 五所川原・飯詰の裸参り	青森テレビ 28分 1993/1/10	青森県五所川原市飯詰地区の人たちは、約360年もの間、大晦日に行われる裸参りを守り続けてきた。雪の中を若者たちが禪一本で、沿道の人から清め水をかけられながら、しめ縄、俵、御簾、餅などを鎮守様に奉納する。正月料理、元朝参りも織り交ぜ、人々の輝かしい表情を描く。
014079	北の輝き ふるさと紀行 しもきた小正月	青森テレビ 28分 1993/2/7	下北半島東通村の小正月の伝統行事「もちつき踊り」を紹介。そして雪の中の田植え、まゆ玉づくりなど今も残る風習や、寒風の中の尻屋灯台、寒立馬など冬のさなかの下北の表情を、写真家の磯山隆幸さんが案内する。
014093	北の輝き ふるさと紀行 祈り 鬼神社・はだか参り	青森テレビ 28分 1994/2/27	青森県弘前市鬼沢地区にある鬼神社。旧暦の小正月に若者たちが神社に裸参りをして年縄を奉納し、その年の豊作を祈願する。雪の降りしきる厳寒の季節に、修験者にも似た禊をしてこの習わしに臨む村の若者たち。そこには時代を超えた祈りの心がある。
012841	県民カレッジテレビ放送講座 とやまに祭りありて〔7〕 聖なる火の祭り ～御神灯とおしょうらい～	北日本放送 29分 1994/3/12	火にまつわる様々な祭を紹介する。富山県下で広く行われる左義長は正月の火祭り。竹を円錐形に組んで正月飾りを焼き、無病息災を祈る。お盆には迎え火と送り火。上市町のニオトンボや八尾町のショーライ盆は、川辺で火を焚いて祖先の霊を招く迎え火である。火には浄化力もあると信じられた。火渡り神事で炭の上を素足で渡ると、穢れを焼き、超自然的な力が得られるという。
004830	ふるさとの伝承 雪の下で祝う 中国山地・正月の食習	NHK 40分 1995/5/28	岡山県の最北端、上齋原村の旧家・藤木家の正月の風習と料理を主題に、この地方の典型的な冬の生活を記録した。暮れから正月にかけての家庭の伝承行事を忠実に受け継いだ、端正で由緒ある生活ぶりが伺える。笹ぼうきで家中を清め、年神様を床に飾り、保存食材を駆使して正月の準備をする。そして神様と同じ食べ物で正月ひと月を過ごす。「百日雪の下」といわれる雪深い山村にゆかしい風習が連綿と続く。
005756	ふるさとの伝承 下北の能舞 厳冬の里に面が舞う	NHK 41分 1995/10/29	下北半島の東通村に、中世芸能の神楽の一種・能舞が伝わっている。人々の心を熱くし、ひとつに結び付ける芸能とは。◆能舞は熊野信仰の山伏が伝えたものといい、東通村で能舞を指導する鹿橋集落の持つ演目は28に及ぶ。能舞を伝承するのは15人の青年会。正月と小正月の夜、人々は夜食を持参し深夜まで寒さを忘れて能舞に酔う。集落のすべての人の心をひとつに結び付け、中世の時代から今もなお受け継がれている。
005764	ふるさとの伝承 鬼の忌屋の若者たち 有明海・竹崎島	NHK 40分 1995/12/24	佐賀県竹崎島は日本の潜水漁業発祥の地である。今も全国で働く島の若者は、暮れになると祭りのため島に戻る。竹崎観音の『鬼祭』は正月2日、3日に行われる。鬼副と呼ばれる役は20歳の若者から選ばれ、赤い着物で祭りの連絡と進行を務める。若者たちの団結を強め、若者集団の中で通らねばならない儀礼としての鬼祭は、潜水作業に就く若者の通過点である。
005781	ふるさとの伝承 岬の袴屋制度 三重県阿児町安乗	NHK 40分 1996/5/5	海辺の町の豊漁祈願のため行われる袴屋制度の記録。新年を境に交代される袴屋の行事を見る。◆袴屋は神の子である袴人(8歳から12歳までの少年2人)が神社の行事に参加する制度で、袴人の役は1年間だが、一家揃って緊張した1年を過ごさねばならない。神に仕える身としての自覚と日常生活まで拘束される不自由さが伴う1年間は厳しいが、次の年の袴人に継承されていく。

放送ライブラリー公開番組「ふるさとの新春」関連

※8階視聴ブースで視聴できます

登録番号	タイトル	放送局	内容
005782	ふるさとの伝承 海に捧げる人形芝居 三重県阿児町安乗	NHK 40分 1996/5/12	三重県阿児町では海と神へ「三番叟」を奉納し、町を挙げての人形芝居を楽しんでいる。安乗神社では正月、神の使いとされる3体の人形が、まず海辺で外海に向かって、次に岡の上で内海に向かい、さらに拝殿で、式三番叟を舞う。祭りの日には人形芝居が保存会の手で上演される。400年の歴史の中で人形の遣い手は変わっていくが、人形に生命を吹き込む人々の心は変わらない。
005784	ふるさとの伝承 道祖神と子供たち 神奈川県秦野の小正月	NHK 40分 1996/5/26	小正月を中心にした道祖神のお祭りは小学生が主人公である。道祖神に小屋を作り町内の家で悪魔ばらいもする。◆道祖神は町に入る災難を防ぐために祭られたといわれる。人々は正月の飾りなど、捨てると災難があるといわれるものを道祖神にお願いする。小正月の日、子供たちは道祖神を清め、小屋を作って祭る。お札を作って売り、悪魔ばらいなどしてお賽銭を受け小遣いにする。夜、どんど焼で祭りが終わる。
006573	ふるさとの伝承 獅子頭がみまもる里 鳥海山麓・象潟町	NHK 40分 1996/9/29	秋田県象潟町小滝地区の人々は年末年始を獅子頭と共に過ごす。かつては鳥海山の修験者が行っていた行事を地区の人々が受け継いでいるのである。小滝地区では氏神様である金峰神社に伝わる獅子頭を鳥海山の神の化身であるとし、年毎に当番を決め獅子頭を守り、小滝特有の獅子舞、十二段の舞の伝統を引き継いでいる。獅子頭は当番の家で正月の行事中、人々と一緒に過ごす。
006585	ふるさとの伝承 神が降りる家 王祇祭と当屋	NHK 40分 1996/12/22	黒川能の最大の舞台は旧正月の祭りである。当屋と呼ばれる民家に、春日神社の御神体「王祇様」が降り、その前で徹夜で能が奉納される。祭りの準備は3ヵ月前から始まる。祭りの主催者は当屋で、最も名誉な役である。能は神社をはさんで上座と下座に分かれ競い合う。祭りの前日には御神体である「王祇様」が上座、下座の当屋の家に運ばれ、当屋に作った能舞台で能が始まる。人々は神と一緒に能を楽しむ。
008904	ふるさと紀行・技の彩り[43] すみぬり祭り(新潟・松之山町)	東海テレビ 12分 1997/2/1	日本各地を訪れ、受け継がれる伝統工芸の技と心を紹介する。◆6百年ほど前から伝わる小正月の行事「すみぬり祭り」。正月に飾られた門松やしめなわを持ち寄って高い塔を作り、雪の上の祭壇で燃やす。それが燃え終わる頃、この灰と雪を混ぜて墨を作り、手当たり次第にお互いの顔に塗り付けて歩く。あちこちで笑い声や叫び声があがり、しばらくすると皆の顔は真っ黒に…。
008767	ふるさとの伝承 羽黒修験 山の火祭り 山形県羽黒町	NHK 41分 1998/2/8	山形県羽黒町手向地区で大晦日に夜を徹して行われる松例祭では、男たちが二手に分かれ稲わらで編み上げた大きな松明を焼き払い、炎の勢いの大きさで新年の豊作と豊漁を占う。松聖とよばれる各長老二人は、100日間、精進潔斎の勤行を勤め上げねばならない。その間、縄ない、綱打ち、疫病神のつつが虫に見立てた大松明作りなど、村総出の共同作業が続く。
008768	ふるさとの伝承 新年を迎えるゲーター祭 三重県神島	NHK 41分 1998/2/15	三重県鳥羽市沖合の神島は、古くから伊勢湾海上交通の要衝として知られる。この島に伝わる珍しい祭りの克明な記録。祭りのハイライトは島の男が総出で一年の厄落としと新年の豊漁祈願のため、グミの枝を編み上げた直径2メートルの大きな輪を長い竹竿で空中高く叩き合う「アワの突き上げ」である。宮持という一年交代の氏子総代を中心に島を挙げて行われる祭りの進行を丹念に描く。
008789	ふるさとの伝承 歳神さまがやってくる 正月と日本人	NHK 41分 1999/1/17	年の瀬、岡山の上斎原村では山の竹で笹箒を作り、家中の煤を払う。瀬戸内の伊吹島では注連飾りを海の潮で浄める。対馬の厳原などでは雑煮から焼き物までブリが正月魚であるが、新潟の二十村郷など、サケを用いる所も多い。山形の櫛引町では、お正月、本家と分家が互いに年始に訪問しあう。各地のお正月の風習を記録する。◆他に石川県奥能登、徳島県東祖谷山村、山口県見島、徳島県東祖谷山村、神奈川県秦野市。

放送ライブラリー公開番組「ふるさとの新春」関連

※8階視聴ブースで視聴できます

登録番号	タイトル	放送局	内容
008790	ふるさとの伝承 小正月 豊作と無事を願って	NHK 41分 1999/1/24	小正月には農作物の豊穰を願ったり、一年の禍いを払う行事が集中している。群馬六合村では小正月に山入りをし、仕事始めの儀式をし、ヌルデの木で小正月の飾り物を作る。農機具のミニチュアや男女一对の道祖神を村の辻にたてる。埼玉の秩父地方、栃木の栗山村、神奈川の秦野市などでも、今も繭玉や鳥追い、どんど焼きなどが受け継がれている。◆他に福島県三島町、静岡県水窪町、香川県伊吹島、新潟県山古志村。
008791	ふるさとの伝承 獅子舞列島 豊作と無事を願って	NHK 41分 1999/2/7	邪悪を払う霊獣・獅子。獅子舞は最も古い芸能として全国で行われている。下北半島の東通村では、正月に青年が獅子舞を門打ちしてまわる。漁村の志津川町では3月に盛大に行われる。麒麟の獅子もある。舞の番数も多く、獅子連中の厳しい練習が続く。栃木の栗山村、宮崎の椎葉神楽でも獅子舞は花形。熊本の遙拝阿蘇神社には元禄時代の古文書が伝えられている。◆他に北海道南茅部町、鳥取県鳥取市、岩手県大迫町。
010999	いしかわ大百科 いしかわの芸能シリーズ2 ～加賀万歳～	テレビ金沢 29分 2001/1/21	加賀万歳を探訪する。◆中国から踏歌が入り、地万歳となった。それを前田利家が石川に持ち込み、1800年ごろ能楽師大石藤五郎が発展させて、加賀万歳ができた。太夫と才蔵の二人組が基本で、前田家の剣梅鉢の紋をつけ、屋敷の中で演じ、動きがゆったりして格調の高いのが特長という。◆正月の朝、加賀万歳保存会が各所で演じる様子を追う。福井県の越前万歳は、中学校で部活動として取り組まれている。
010564	ふるさと百景 酒津のトンドウ(気高郡気高町)	日本海テレビ 12分 2001/2/4	門松やしめ縄を持ち寄って燃やし、正月の歳徳神を天へ送る「トンドウ」。県指定の無形民俗文化財に指定されている酒津のトンドウは、小学生の男子が主役になって行われる。海岸に出て身を清め、町内を走り回って家々を清め、さらにトンドウの火入れを触れ回る。午前5時、トンドウは潮風に煽られて天へ火柱を上げる。
010565	ふるさと百景 秋鹿のおもつつあん(島根・松江市)	日本海テレビ 12分 2001/2/11	「おもつつあん」は「大餅さん」が転じたもので、旧正月の初めの「御頭行事」として伝えられている。直径80センチ、重さ60キロもの大餅をつき上げ寺に奉納する。住職が一年の無病息災と豊作を祈願したのち、地区の男衆がかついで急斜面を駆け下りる。すべて男の手で行われる行事だ。
012689	ふるさと百景 新春の港に伝わるトンド祭り(島根・美保関町片江)	日本海テレビ 12分 2002/1/13	250年前から島根県美保関町に伝わる「とんど行事」の一環として「墨つけ神事」が正月7日に行われる。顔に墨を塗ってもらうと魔除けになり、1年の無病息災と海の安全を願う神事である。片結神社でお払いを受けた後、神輿が担ぎだされると、女性たちが風呂場や釜のすすを集めて練った墨を道行く人に塗りつけていく。地区を回った神輿は海へと入っていく。新婚の男性や新築した男性が海へ放り投げられ、伝統行事を盛り上げる。
012690	ふるさと百景 五十猛のグロ(島根・大田市)	日本海テレビ 12分 2002/2/3	島根県大田市五十猛町の大浦港では、珍しい正月行事が連綿と続いている。1月11日の早朝から二時間ほどで、港の一角に竹、笹、箆でグロと呼ばれる円錐型の仮屋を建てる。グロの中には囲炉裏が設けられ、14日夜まで焚き続けられる。地域の人々が次々と訪れ囲炉裏で餅などを焼いて食べ、豊漁と今年一年の無病息災を祈る。漁師らがこの一年間の無事と豊漁を祈願する。
011826	ふるさと百景 伝統の厄払いホトホト(鳥取・日南町)	日本海テレビ 11分 2003/3/2	「ホトホト」は、小正月の夜、子供達が厄年を迎える家に藁で作った銭さしや馬をもって行き、代わりに祝いのお餅やお菓子をもって帰るという厄払いの風習。昔は各地でこの風習が行われていたが、現在はほとんど行われなくなった。鳥取県日南町多里では、この行事を地区の有志によって復活させ、今では冬の行事として受け継がれている。

放送ライブラリー公開番組「ふるさとの新春」関連

※8階視聴ブースで視聴できます

登録番号	タイトル	放送局	内容
011914	晴れの食卓 ～冬～	秋田朝日放送 26分 2003/3/8	晴れの日の食卓には様々な願いが込められ、そこには季節の恵みがある。秋田にはどんな晴れの食があるのか、季節ごとに紹介するシリーズの冬編。◆老舗の味噌醤油醸造元の安藤家の「餅つき」、小正月の料理「きゃのこ汁」、「掛魚まつり」の「たら汁」などを紹介する。
014099	うつくしま祭り50選 広瀬熊野神社の御田植と 八槻都々古別神社の御田植 岩代町・棚倉町	福島テレビ 26分 2003/6/9	正月に阿武隈山地の山あいにある熊野神社で、拝殿や大拍子を田に見立て餅躰などを用いて稲作を順に真似ていく。稀にみるほど古風で素朴な神事が雪の中で繰り広げられる。延喜式内社で奥州一の宮とされる都々古別神社でも、豊作を祈って正月に楽人によって田遊びが行われる。口上も仕様もきわめて洗練されていて、中世絵巻さながらの神事が繰り広げられる。
014107	うつくしま祭り50選 信夫三山暁まいり 福島市	福島テレビ 26分 2003/8/4	小正月、信夫山の羽黒神社境内に祀られている足尾神社に、大勢の若者が十メートルを越す大わらじを奉納する。この夜、参詣者は明け方まで続き、縁起物を求めて帰途につく。
014108	うつくしま祭り50選 三島のさいの神 三島町	福島テレビ 26分 2003/8/11	雪が降りしきる中、地区ごとに立てられた十数メートルものさいの神の火が一斉に空を焦がす。県内でも稀にみるほど規模が大きく、まさに年中行事の里・三島ならではの小正月行事である。
013406	KNB新春スペシャル2004 えっ富山ちゃそーなんけ！？3 KNBアナの新年会 食文化編	北日本放送 70分 2004/1/2	北日本放送アナウンサーが勢ぞろいでおくる新年会。「方言」に続き、「食文化」をテーマに、東日本・県東部出身者と西日本・県西部出身者が、「お雑煮」はごった煮風かお澄まし風かで激論を繰り広げる。さらに県外出身のアナウンサーが富山に来て戸惑ったこと、驚いたこと、今でも抵抗のあること、逆にはまってしまったことなどのエピソードを披露。笑いの中で地域文化を再発見する。
014991	どーんと鹿児島 復帰50年記念 奄美「冬」編 ネリヤカナヤの早春	南日本放送 47分 2004/2/26	奄美大島の伝統的な正月の儀式「三献(さんごん)」は、家長を上座に子や孫たちが並んで3種類の正月料理を頂く。この時期の風物詩は、大潮の時に海面に現れたサンゴに取り残された魚やタコなどを狙う「イザリ漁」。ランプを手に人々は海に出かける。森の中では越冬するチョウ・リュウキュウアサギマダラの群れが光を受けていっせいに羽ばたく。この他、沖永良部島の鍾乳洞や島唄、ダイナミックなエイサーの踊りなどを紹介する。
201791	ふるさと発ドキュメント 福を届け 福を待つ ～徳島・伝統の「三番叟(さんばそう)まわし」～	NHK 25分 2005/3/18	木箱二つに四体の人形を入れ、木偶使いと鼓打ちの二人で新年の家々を門付けして周る祝福芸「三番叟まわし」。人形浄瑠璃の原点ともいわれる三番叟まわしは徳島県の正月儀礼として続いてきたが、戦後は生活様式の変化や同和問題を背景に姿を消していった。その芸を復活させようと、中内さんは最後の現役の木偶遣いに弟子入りして技術を学んだ。徳島県西部、700軒を門付けする旅に同行する。
201622	柴田理恵認定 ゆるゆる富山遺産 '07冬	チューリップテレビ 77分 2007/1/3	一見地味な県・富山に秘められた魅力を紹介、庶民レベルのグルメ・人物・景観・芸術を見つけ出し、富山遺産として守り伝えようという番組。富山県出身の女優・柴田理恵が故郷の良さを再発見する。◆「お正月だしゲストを迎えて、過去最強遺産も決定するぞスペシャル」。特別出演のクマさん(篠原勝之)とともに、電車ワールドの喫茶店、宇宙的リサイクル発明家おじさん、富山県産スーパーカー、親子三代のもつ鍋などを紹介する。
200176	ダイドードリンコスペシャル 掴め、奪え！裸男が、渦を巻く！！ ～奥州・黒石寺蘇民祭～	テレビ岩手 49分 2008/3/2	二月の深夜、旧正月七日に岩手県奥州市の黒石寺で行われる「蘇民祭」。一年の五穀豊穡と家内安全が約束される「蘇民袋」を巡り下帯姿の男たちが争奪戦を繰り広げる。檀家や保存協力が一ヶ月前から作業にあたるが、その準備も旧暦の暦に基づいてゆっくりと行われる。荒々しい一方、どこか大らかでユーモラスなこの祭を支える人、裸で息巻く男衆…。蘇民祭を愛してやまない人たちの心と風土を守る誇りを描く。

放送ライブラリー公開番組「ふるさとの新春」関連

※8階視聴ブースで視聴できます

<ラジオ番組>			
登録番号	タイトル	放送局	内容
R00738	初詣特集 白山ひめ神社から	北陸放送 26分 1960/1/1	全国に1700余りの末社を持つ白山信仰の中心地、加賀一の宮白山ひめ神社から元旦祭の様態を中継。宮司、参拝者などへのインタビューで新年の抱負を聞く。
R00921	録音風物誌 新しい年を迎えた越前万歳	福井放送 9分 1969/1/5	正月年頭に歌い舞いながら各家を訪問する万歳。福井県鯖江市で伝統の越前万歳(野大坪万歳)を継承しようと稽古を重ねる研究会の人々の活動を伝える。
R20324	日本民謡大観 山梨民謡と岡山民謡〔1〕	NHK 10分 1996/1/21	NHKが半世紀にわたって記録してきた2万曲の日本民謡の中から紹介する番組。東西異なる地域の唄を聴き比べていく。解説は音楽学者の小島美子さん。◆今回は山梨民謡と岡山民謡の1回目。両県に伝わる正月の祝い唄を聴き比べる。曲目は岡山の「祝唄(シヨウガ節)」「祝唄(サゴジョ節)」、山梨の「祝唄(ほそり)」。
R03163	にっぽん音めぐり アンコール傑作選!〔3〕 早春の五島列島	NHK 45分 2007/1/3	長崎県五島列島を訪ね、伝統の祭りや隠れキリシタンに代表される信仰の歴史に触れる。まずは、中通島で小正月に行われる弁才天(メーザイテン)祭り。鯨唄を歌いながら家々を回る。鯛ノ浦教会はキリスト教の歴史を伝える。福江島では難解な五島弁と椿に群れるメジロやヒヨドリ。「へとまと」は国の重要無形文化財で、相撲や羽根つき、玉けり、綱引きなどを行う。堂崎天主堂ではミサの様子や隠れキリシタンの話を紹介する。
R03034	録音風物誌・いわてスペシャル! 秘謡《氷口御祝》を唄い継ぐ中学生たち	IBC岩手放送 33分 2007/3/19	民謡のふるさと遠野の山あいの集落・小友町氷口に、江戸時代から唄い継がれる「氷口御祝(すがぐちごいわい)」がある。男女のグループが歌詞も旋律も異なる唄を同時に唄い始め同時に終わるといふ珍しい祝い唄だ。小友中学校三年生11名は、保存会の指導でこの唄に取り組み、その成果を小友地区の新年交賀会で披露する。男子生徒は羽織袴、女子生徒は黒留袖の正装で晴舞台に臨む。
R03271	太夫と才蔵の村	東海ラジオ放送 30分 2008/5/24	正月に家々を回り、新春を祝うと共に家内安全を願う「尾張万歳」は愛知県知多地方に伝わる福芸である。俳優・天野鎮雄さんが家元の北川幸太郎さんを訪ねる。尾張万歳は鎌倉時代に仏教の教えを庶民に説くために作られ、後に知多地方に伝わった。明治・大正期には農閑期の出稼ぎ芸として栄え、万歳師たちが関東や関西に出かけて行った。96年には国の重要無形民俗文化財に指定され、次世代の育成が行われている。